

## 第231回 日本泌尿器科学会東北地方会

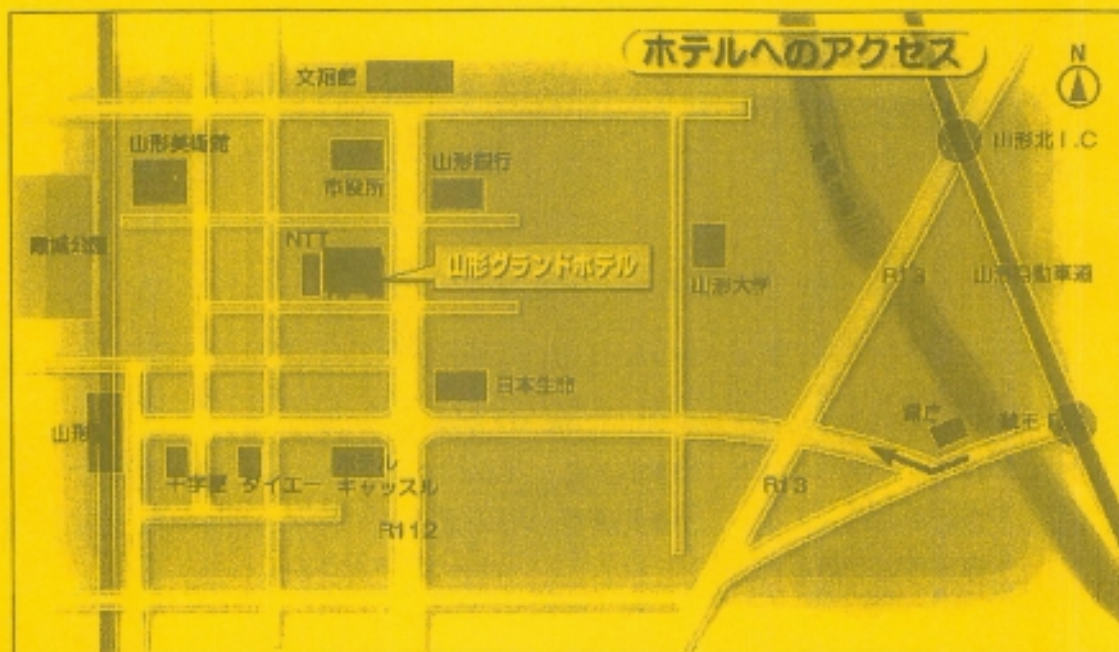
会 長 山形大学医学部代謝再生統御学講座  
腎泌尿器外科学教室 富田 善彦

会 期 平成16年9月17日(金)

会 場 山形グランドホテル  
〒990-0043 山形市本町1-7-42  
TEL:023-641-2611

事務局 〒990-9585 山形市飯田西2-2-2  
山形大学医学部代謝再生統御学講座  
腎泌尿器外科学教室内  
第231回日本泌尿器科学会東北地方事務局  
TEL:023-628-5368 FAX:023-628-5370

## 総合案内



### 市内ならびに近郊案内

- 山形城跡・郷土館・山形美術館・県教育資料館・文翔館・栗野公園・専修寺・唐松観音
- 山寺立石寺
- 蔵王園定公園
- 上山市茂吉記念館

～このほか、ちょっと足をのびて～

「まほろばの里」集賢文珠、米沢市の上杉神社、寒河江市の慈恩寺など、ぜひ訪れてみたいところです。

### 交通

- |     |           |           |
|-----|-----------|-----------|
| 新幹線 | 東 京～山 形   | 2時間30分    |
| 飛行機 | 東 京～山 形   | 55分       |
|     | 大 阪～山 形   | 1時間10分    |
|     | 札 幌～山 形   | 1時間       |
|     | 山 形～名古屋   | 1時間5分     |
| 自動車 | 東 京～山 形   | 5時間       |
|     | ●仙台駅からバスで | 1時間       |
|     | ●山形空港から車で | 30分       |
|     | ●山形駅から車   | 5分、徒歩 15分 |

### 駐車場のご案内



## 会長挨拶

第231回の東北地方会の当番として山形で開催させていただくにあたりご挨拶申し上げます。本来、弘前大学の順番でありましたが、繰り上がりで山形での開催となりました。このこともあり、主に会場の都合から、金曜日の開催となり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしております。申し訳ございません。

さて、今回の試みとしましては、今般の各学会研究会でも一般的になっておりますコンピュータープレゼンテーションでの発表を全演者の先生にお願いいたしました。また、症例報告中心の会で、若い先生方が多くこられることから、膀胱癌につき、日常診療に役立つようなミニシンポジウムを企画し、司会を東北大学齋藤先生、弘前大学古家先生にお願いしております。さらに、8月に着任された、弘前大学教授 大山先生のランチョンセミナー、筑波大学教授 赤座先生のサテライトセミナーと金曜日の午後のみで開催ですが内容は濃いものになることと思います。

秋田、青森、岩手の先生方には時間的に遠方のためご不便をおかけいたしますが、山形での会で何かしら得ることがあったと言っただけのように努力していきたいと思っております。また、本会が実り多いものとなりますようにご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

富田 善彦

## ご案内

### 1. 参加者の先生方へ

- 1) 受付は、山形グランドホテル2階ロビー・3階ロビーで行います。
- 2) 参加費 2,000 円をお支払いの上、参加証をお受け取り下さい。
- 3) プログラムは数に限りがありますのでご持参下さい。
- 4) 本学会は2階・サンリヴァ(A会場)および3階・白鳥の間(B会場)の2会場で開催いたします。会場案内図、5 ページのスケジュールをご確認願います。

### 2. 一般演題、ミニシンポジウム演者の先生方へ

- 1) 演題受付は各会場前演題受付にて 10:30~12:30 までの間にお済ませ下さい。
- 2) 発表は、PC プレゼンテーションに限らせていただきます。
- 3) 発表時間は、発表 7 分、討議 3 分。時間厳守でお願い致します。
- 4) PC での発表となりますので、下記の注意事項を厳守して下さい。
- 5) データファイル・PC の不調等により、演題の映写が不可能な場合には、演題取り消しとなる場合があります。あらかじめご了承下さい。
- 6) トラブルを避けるために動画は使用しないで下さい。動画によるプレゼンテーションを希望する場合は VHS ビデオテープのみ受け付けさせていただきます。

#### ◆ Windows の場合

- ① データは、USB メモリ、CD-R のいずれかに保存されたうえで、各会場前の発表受付にご持参下さい。
- ② 会場で使用する PC の OS は WindowsXP、アプリケーションは PowerPoint2003 です。
- ③ フォントは OS 標準で装備されているものでお願い致します。画面レイアウトの異常や文字化けを防ぐため、「MS 明朝」、「MS P 明朝」、「MS ゴシック」、「MS P ゴシック」、「Century」、「Times New Roman」のご使用をおすすめします。
- ④ 動画や音声は利用できません。(PowerPoint のアニメーション機能は除く)
- ⑤ 画像の解像度は XGA(1024×768)です。これより大きい場合は周囲が切れて

しますので、画面の設定は XGA に合わせて下さい。

- ⑥ 12:30 までに会場前演題受付の PC デスクまでお越しのうえ、データをインストールし、ご確認いただき、発表に備えて下さい。12:00 以降は混雑が予想されますので、早めに受付をお済ませ下さい。

※ ご発表のデータは一旦 PC にコピー致しますが、ご発表終了後削除致します。

- ⑦ 発表時には、演題上のパソコンをご自身で操作して下さい。

#### ◆ Macintosh の場合

- ① Mac PC は、事前登録のみとします。Mac PC のメディアは USB メモリと CD-R のみ受け付けます。必ず事前に(1週間前までに)メディアを送付して下さい。事務局で動作確認致します。

- ② 当日の Mac PC および Mac で作成したメディアの持込はお断わり致します。

- ③ 会場で使用する PC の OS は Mac OS 10.3、アプリケーションは PowerPoint V.X です。

- ④ フォントは OS 標準で装備されているものでお願い致します。

- ⑤ 動画や音声は利用出来ません。(PowerPoint のアニメーション機能は除く)

- ⑥ 画像の解像度は XGA(1024×768)です。これより大きい場合は周囲が切れてしますので、画面の設定は XGA に合わせて下さい。

- ⑦ 発表時には、演題上のパソコンをご自身で操作して下さい。

※ ご発表のデータは一旦 PC にコピー致しますが、ご発表終了後削除致します。

※ PowerPoint V.X 以外のアプリケーションソフトの使用を希望する方は事前に事務局までご相談下さい。

### 3. 座長の先生方へ

- 1) 担当セッションの始まる 10 分前までに、各会場前の受付で座長受付を済ませて次座長席におつき下さい。
- 2) 一般演題の質疑応答は 3 分を予定しております。時間内に終了するようお願い申し上げます。

#### 4. 抄録作成について

演題を発表された先生方は『泌尿器外科』掲載用の抄録の作成をお願い致します。下記のA～Cのいずれかの方法で地方会当日までにご提出お願い致します。事前にご案内および抄録用紙が届いていない場合には、事務局までにご連絡をお願い致します。

A 事前に送付した抄録用紙をご使用いただき、当日受付に提出。

B 発表用データファイル送付の際、抄録用データも同時に送付。

C E-mailにて [hinyouki@idw03.id.yamagata-u.ac.jp](mailto:hinyouki@idw03.id.yamagata-u.ac.jp) 宛に送付。

※ BまたはCの方法で送付される場合には、テキスト方式で保存して下さい。

#### 6. 評議員会

9月17日午前11時より、山形グランドホテル・2階サンリヴァにて評議委員会を行います。評議員の先生方のご出席下さい。

#### 7. 懇親会

サテライトセミナー終了後、山形グランドホテル・2階サンリヴァにてささやかながら懇親会をご用意しております。是非ご参加下さい。

## スケジュール

10:00 運営委員会 (8F・エーゲ)

10:30 開場・受付開始

11:00 評議員会 (2F・サンリヴァ)

11:55 開会の辞

12:00~13:30

ランチョンセミナー (2F・サンリヴァ)

弘前大学泌尿器科学講座教授 大山 力 先生

13:30~16:00 一般演題

一般演題 A (A会場 2F・サンリヴァ)

13:30~14:50 I 腎腫瘍

14:50~16:00 II 副腎・尿管・膀胱

一般演題 B (B会場 3F・白鳥の間)

13:30~14:40 I 精巣腫瘍・その他

14:50~16:00 II 前立腺・尿管・その他

16:10~17:30

ミニシンポジウム (A会場 2F・サンリヴァ)

～ 表在性膀胱がん診断・治療法の再確認 ～

17:30~18:30

サテライトセミナー (A会場 2F・サンリヴァ)

筑波大学大学院腎泌尿器科学・男性機能学分野教授 赤座 英之 先生

18:31 閉会の辞

18:35 懇親会 (3F・白鳥の間)

## 第231回日本泌尿器科学会東北地方会プログラム

- 10:00 運営委員会（8F・エーグにおいて）  
10:30 開場・受付開始  
11:00 評議委員会（2F・サンリヴァにおいて）  
11:55 開会の辞 会長 富田 善彦

12:00～13:30

ランチョンセミナー（2F・サンリヴァにおいて）

司会 富田 善彦

弘前大学泌尿器科学講座 教授 大山 力 先生

### 『限局性前立腺癌の治療選択と新規バイオマーカーCore2GnT』

近年、限局性前立腺癌の症例数は著明に増加しているが、治療の選択肢も多数存在する。限局性前立腺癌の患者に治療法を提示する際に、進展度の予測や再発リスク層別化の目的で一般的に使用されているパラメーターは PSA、Gleason score および clinical T である。しかし、Watchful waiting の適応決定や被膜浸潤の正確な予測にはまだ不十分であるというのが実情ではなかろうか。限局性前立腺癌の治療選択では、癌が各々の症例の生活の質や生命にとってどの程度障害になるのかを治療前に正確に評価することが重要である。その上で全摘術、外照射療法、密封小線源療法、Watchful waiting などの選択肢の長所と短所を考慮して選択されるべきである。したがって、前立腺癌の悪性度の指標となるバイオマーカーの開発は臨床的に重要な意義を持つ。

我々の研究グループは糖タンパク糖鎖の発現と癌の生物学的悪性度との関係に着目し、新規バイオマーカーの開発に取り組んでいる。今回は、O-glycan の分岐構造に関与する Core2 N-acetyl-glucosaminyltransferase (Core2GnT) 発現の意義について紹介する。前立腺生検標本の免疫組織化学的検討で全摘後の pT と PSA 再発を予測可能であることから、Core2GnT を取り入れた新規ノモグラムを作成中である。また、Core2GnT を遺伝子操作で強制発現させた前立腺癌細胞株 LNCaP を樹立して、Core2GnT の発現と前立腺癌の悪性度亢進に関する分子生物学的背景を検討した。さ



らに Core2GnT の遺伝子多型を検討したところ、肥大型と前立腺癌の間で有意差を認める SNP が検出された。

Core2GnT は限局性前立腺癌悪性度を反映するバイオマーカーとしての応用が期待されるが、臨床的裏づけはまだ不十分である。本プロジェクトへの忌憚のないご批判、ご意見を頂戴したい。

13:30~14:50

一般演題 A-1 A 会場 (2F・サンリヴァにおいて)

## I 腎腫瘍

座長 土谷 順彦 (秋田大学)

### 1. 進行性腎癌に対する IFN $\alpha$ 、シチジン併用療法中に赤芽癬を発症した 1 例

福島県立医科大学	○	<small>オカワソウイチロウ</small> 小川総一郎	橋本 樹
		深作美津子	酒井多喜夫
		松岡 俊光	千葉 茂寿
		鎌田 竜彦	本田 和也
		山口 脩	

### 2. 発熱を主訴とし診断に苦慮した腎腫瘍の 1 例

福島県立医科大学	○	<small>オグロ トシキ</small> 小黑 俊樹	相川 健
		高橋 則雄	羽賀 宣博
		新田 浩司	櫛田 博
		柳田 知彦	横田 崇
		山口 脩	
大原総合病院		加宅田和彦	横山 純

3. 術前画像診断が困難であった肝への直接浸潤を伴った腎がん症例

岩手医科大学 ○ <sup>タナカ</sup>田中 <sup>タカナオ</sup>考直 尾張 幸久  
大森 聡 徳永 英夫  
近田龍一郎 藤岡 智昭

4. 成人に発生した Cystic partially differentiated nephroblastoma の1例

弘前大学 ○ <sup>カジハラ</sup>梶原 <sup>サトシ</sup>哲 山内 崇生  
工藤 大輔 古家 琢也  
高橋 信好 大山 力

5. 腎小細胞癌の1例

岩手県立胆沢病院 ○ <sup>ウエダ</sup>上田 <sup>ツトム</sup>勉 小笠原 賢  
下田 次郎

6. 腎悪性リンパ腫の1例

公立気仙沼総合病院 ○ <sup>マツシタ</sup>松下 <sup>マフミ</sup>真史 内 啓一郎  
岡田 康弘

7. 後腹膜脂肪肉腫と左腎癌同時手術の1例

山形県立中央病院 ○ <sup>ササキミツハル</sup>佐々木光晴 小林 孝至  
小野久仁夫 菅野 理  
星 宣次 笹生 俊一

8. 腎オンコサイトーマの2例

山形大学	○	<sup>ツキギ</sup> 槻木	<sup>マサキ</sup> 真明	長岡	明
		矢口	博理	今井	智幸
		加藤	智幸	大地	宏
		山辺	拓也	石井	達矢
		川村	裕子	富田	善彦

13:30~14:40

一般演題 B-1 B会場 (3F・白鳥の間において)

I 精巣腫瘍・その他

座長 長岡 明 (山形大学)

9. 巨大な後腹膜リンパ節転移をきたした精巣腫瘍

~大量化学療法後、大動脈置換を伴う外科的 CR が得られた1例~

東北大学	○	<sup>イケダ</sup> 池田	<sup>ヨシヒロ</sup> 義弘	沼畑	健司
		佐藤	信	中川	晴夫
		新宅	一郎	海法	康裕
		青木	大志	石井	智彦
		王	華	荒井	陽一

10. Growing teratoma syndrome の1例

弘前大学	○	<sup>イシムラ</sup> 石村	<sup>ヒロフミ</sup> 大史	米山	高弘
		吉川	和暁	古家	琢也
		高橋	信好	大山	力

11. 1才児に発生した精巣腫瘍の1例

市立秋田総合病院 ○ <sup>ナリタ</sup>成田 <sup>ナオミ</sup>直史 鈴木 丈博  
石田 俊哉 松尾 重樹  
虎ノ門病院 皆川 真吾

12. 精索に発生した lipoleiomyosarcoma の1例

市立酒田病院 ○ <sup>ナイトウ</sup>内藤 <sup>セイ</sup>整 國井 拓也  
金子 尚嗣  
同 臨床検査科 矢島美穂子  
山形大学 冨田 善彦

13. 精索に発生した血管筋線維芽腫の1例

入澤泌尿器科内科クリニック ○ <sup>イリサワ</sup>入澤 <sup>チアキ</sup>千晶 入澤 千晴  
入澤 俊氏

14. 精索に発生した malignant fibrans histocytoma

北上済生会病院 ○ <sup>カシワバラ</sup>柏原 <sup>ユウキ</sup>裕樹 鈴木 薫  
鈴木 徹  
岩手医科大学 藤岡 知昭

15. 鼠径部横紋筋肉腫の1例

八戸市立市民病院 ○ <sup>カワモリタナオキ</sup>川守田直樹 稲葉 康雄  
相馬 文彦

14:50~16:00

一般演題 A-2 A会場 (2F・サンリヴァにおいて)

II 副腎・尿管・膀胱

座長 横田 崇 (福島県立医科大学)

16. 後腹膜鏡下尿管切開術を施行した腎盂尿管移行部狭瘻の1例

秋田大学	○	マツウラ 松浦	シノブ 忍	土谷 順彦
		神崎 正俊		灘岡 純一
		小原 崇		成田伸太郎
		井上 高光		堀川 洋平
		柿沼 秀秋		富樫 寿文
		大山 力		佐藤 滋
		羽淵 友則		
こはまクリニック		小浜 丈夫		

17. 出生前診断された右腎盂尿管移行部狭瘻、左中部尿管、尿管膀胱移行部狭瘻の1例

岩手医科大学	○	カトウ 加藤	カレン 香廉	小原 航
		松下 靖		丹治 進
		近田龍一郎		藤岡 知昭

18. 腹壁、陰囊部の転移をきたした CA19-9 産生膀胱腫瘍の 1 例

福島県立医科大学 ○ <sup>カタカ</sup>片岡 <sup>マサオ</sup>政雄 嘉村 康邦  
富田晋太郎 矢崎 順二  
白岩 学 吉田 純也  
内田 久志 宍戸 啓一  
山口 脩

19. 腫瘍形成を伴った増殖性膀胱炎の 1 例

八戸赤十字病院 ○ <sup>オオウチ</sup>大内 <sup>アツシ</sup>淳 萩生 和徳  
瀬尾喜久雄

20. 傍膀胱結核性腫瘍の 1 例

仙台赤十字病院 ○ <sup>ヤマダ</sup>山田 <sup>シゲユキ</sup>成幸 太田 章三  
八戸市立市民病院 川守田直樹

21. 副腎悪性リンパ腫の 1 例

山形大学 ○ <sup>ヤマバ</sup>山辺 <sup>タクヤ</sup>拓也 槻木 真明  
長岡 明 矢口 博理  
今井 智幸 加藤 智幸  
大地 宏 石井 達矢  
川村 裕子 富田 善彦

14:40~16:00

一般演題 B-2 B会場 (3F・白鳥の間において)

II 前立腺・尿管・その他

座長 近田 龍一郎 (岩手医科大学)

22. 宮城県柴田地区における前立腺がん検診 初年度の結果について

船岡今野病院	○	佐藤 和宏		
宮城県立がんセンター		桑原 正明	栃木 達夫	
		川村 貞文	山下 慎一	
みやぎ県南中核病院		庄司 則文	一柳 統	

23. ドセタキセル、エストラムスチン、カルボプラチンの3剤併用化学療法が奏効した前立腺癌肝転移の1例

秋田大学	○	熊谷 研	伊藤 卓雄
		成田伸太郎	井上 高光
		堀川 洋平	柿沼 秀秋
		富樫 寿文	松浦 忍
		土谷 順彦	大山 力
		佐藤 滋	羽瀨 友則
湖東総合病院		佐藤 敬悦	

24. GDC 両方の奏効した局所進行、精嚢腫瘍の1例

東北大学	○	山室 拓	竹田 篤史
		齋藤 誠一	石戸谷滋人
		徳山 聡	加藤 正典
		當麻 武信	上野 誠司
		竹本 淳	荒井 陽一

25. 臍形成術を施行した臍嚢腫の1例

公立藤田総合病院	○	熊谷 伸	村木 修
		伊達 智徳	
福島県立医科大学		片岡 政雄	
同 形成外科		梶川 明義	
公立藤田総合病院 皮膚科		伊藤 信夫	

26. 尿管に発生した移行上皮癌の1例

仙台社会保険病院	○	泉 秀明	庵谷 尚正
		相沢 正孝	竹内 晃
		折笠 精一	坂元 和宏

27. 公衆浴場で受傷した陰嚢外傷の1例

平鹿総合病院	○	熊澤 光明	福田 歴視
		高橋 一広	佐藤 一成
市立秋田総合病院		石田 俊哉	

28. 陰経海綿体一大伏在静脈シャント術を施行した持続陰茎勃起症の1例

秋田大学	○	神崎 正俊	松浦 忍
		土谷 順彦	富樫 寿文
		灘岡 純一	熊谷 研
		井上 高光	伊藤 卓雄
		堀川 洋平	柿沼 秀秋
		大山 力	佐藤 滋
		羽瀨 友則	
秋田組合総合病院		木津 典久	



29. 陰茎折症の2例

東北労災病院 ○ 川崎 芳英 浪間 孝重  
大沼徹太郎  
公立気仙沼病院 内 啓一郎

16:10~17:30

ミニシンポジウム A会場 (2F・サンリヴァにおいて)

座長 齋藤 誠一 (東北大学)

座長 古家 琢也 (弘前大学)

表在性膀胱がん診断・治療法の再確認

1. 表在性膀胱がん診断法。新しい方法も含めて

秋田大学 堀川 洋平

2. TURの適応とその限界

岩手医科大学 近田龍一郎

3. TUR後の再発・進展の予測と経過観察法

福島県立医科大学 本田 和也

4. 膀胱内注入療法の現状と問題点

山形大学 加藤 智幸

5. BCG療法の適応と問題点

弘前大学 古家 琢也

6. 根治的膀胱摘除術施行のタイミングと問題点

東北大学 沼畑 健司

17:30~18:30

サテライトセミナー A会場 (2F・サンリヴァにおいて)

司会 富田 善彦

筑波大学大学院腎泌尿器科学・男性機能学分野 教授 赤座 英之 先生

### 『前立腺癌の CAB 療法に関する最近の動向』

最近の meta-analysis によれば、進行前立腺癌に対する CAB 療法には、僅かながら LH-RH agonist、あるいは、除睾術単独にくらべ、有意な延命効果が示されている。

しかしながら、sequential androgen depletion や intermittent androgen depletion に比べても CAB 療法が勝てるのか？、または、cost-benefit balance は、どうなのか？、など、今後も解決しなければならない問題が山積している。ここでは、最近の知見から、(1)当初、Labrie 博士が提唱した CAB (MAB) 理論に関する最近のエビデンス、(2) CAB 療法からの再燃機構に関する最近のエビデンス、(3) これまでの CAB 臨床試験の欠点を補った臨床試験結果、(4) 新たな androgen depletion の方向性、について考察する。

18:31 閉会の辞

会長 富田 善彦

18:35 懇親会 (3F・白鳥の間において)